

石垣ロータリークラブ週報

: 今月のロータリーレート \$ 1=111 円:



四つのテスト

言行はこれに照らしてから

1. 真実かどうか
2. みんなに公平か
3. 好意と友情を深めるか
4. みんなの為になるかどうか



地区ガバナー: 松坂 順一氏「研修と活性化」

◆クラブテーマ『ロータリーを楽しもう!』

国際ロータリー第2580地区
今週のクラブ紹介

東京東ロータリークラブ

会 長: 高野 仁男 クラブテーマ「格好いいロータリアンになろう」
例会日時: 金曜日 12:30~13:30 場所: ホテルニューオータニ

～ 東京東ロータリークラブの誕生 1955年6月 ～

我が国で最初に出来たロータリークラブは、東京RCで 1920年。その後、順調に発展し、満州を含め48クラブを数えるようになった。しかし、第2次大戦を間近に控えた1940年9月、軍部の圧力もあって、RI(国際ロータリー)脱退を決議、解散に至った。戦後、1949年、マッカーサーの支持を得て、札幌、東京、名古屋、京都、大阪、神戸、福岡の7ヶ所にRCが復活。東京RCは、間もなく地域を分けて、東京北RC、東京南RCを設立させた。その後、1955年、東京北RCは江東5区を分けて、新クラブ結成を決議。当時、東京北RCのチャーターメンバーであった那波光正氏と、東京RCの元会長で南・北両クラブを誕生させ、新クラブ設立の名産婆役といわれた柏原孫左衛門氏が東京東RC結成の任に当たることになった。やがて、会員候補者が22名になり、1955年4月8日、午後4時、上野精養軒で新クラブ結成式が挙行された。席上、会長・那波光正氏、副会長・前田武雄、幹事・小林卯三郎の3氏が指名され、理事には那波光正、中島亮、服部謙太郎、神守源一郎、近藤光正、前田武雄、丹羽芳雄の各氏が選出された。そして会の名称は「東京東RC」と決定した。6月30日、上野精養軒においてチャーターナイト(認証状伝達式)が挙行された。(1991年4月12日 前田武雄君例会卓話より要約)



<8月の予定>

8日(水): 会員卓話 15日(水): 入会式 22日(水) 休会 29日(水) 夜間例会

🍀 会長: 遠藤 正夫 副会長: 橋本 孝来 幹事: 池城 貞光 副幹事: 大田 次男 🍀

例会日 水曜日 12:30~13:30
例会場 アートホテル石垣島 (0980) 83-3311
事務局 〒907-0013 石垣市浜崎町 1-1-4
2018-2019年度 国際ロータリーのテーマ

TEL/FAX (0980) 83-2917
URL <http://ishigaki-rotary.jimdo.com>
E-mail ishiroatary@ninus.ocn.ne.jp

《第3回 7月25日(水)例会報告 (通算2795回)》

<司会進行> 櫻井 浩一

ロータリーソング:手に手 四のテスト
ソングリーダー:吉田 貴紀
ゲスト卓話:荻堂久子氏
メイクアップ:大瀨 達也 仁開 一夫 佐久本 達
今西 敦之 大田 次男

<出席報告>

会員総数:43名
出席義務会員:42名
出席数:28名
欠席数:14名
出席率:66.66%
通算出席率:73.64%(6月)



本日のニコニコ

遠藤正夫:荻堂先生 本日はありがとうございました。
宮良榮子:荻堂久子氏の卓話に感謝
櫻井浩一:荻堂先生 卓話有難うございました。(バッチ忘却)
橋本孝来:バッチ忘却

◆BOX ¥4,000
(累計¥32,000)
◆コイン ¥4,964
(累計¥8,256)
合計 ¥40,256



会長挨拶:遠藤正夫



皆さんこんにちは。今日は荻堂先生に時間をたっぷり使って楽しい貴重なお話をさせて頂きたいと思います。勝手に私どもの業界のPRなんです、テーブルにあります、「土地の境界トラブル無料相談会」というものを土地家屋調査士会が今週の金曜日7月27日午前10時～午後4時まで合同庁舎3階の会議室であります。ご親戚やお知り合いの方、気軽に参加していただければと思います。よろしくお願いいたします。先週久しぶりに山形帰って、埼玉、東京に行ってきましたがとっても暑かったです。沖縄、石垣島の方が涼しいなと思いました。でもまだまだ暑いので皆さんお体お気をつけください。豊年祭も今週末から始まると思いますが、司をしております荻堂先生の方からいろんな楽しいお話があるかと思っておりますのでよろしくお願いいたします。

幹事報告:池城貞光

世界平和の鐘の沖縄県支部への会員加入のお願いがきております。後日皆さんの方にもFAXいたしますので、是非ご参加の方よろしくお願ひいたします。「平成30年7月豪雨」災害支援金のお願いがきております。こちらは一度理事会の方で図りまして後日皆様にご報告いたします。「第17回ロータリー全国囲碁大会」のご案内、10月6日(土)に、東京・市ヶ谷の日本棋院本院で開催いたします。詳しい事は事務局にお願いします。東京東江戸川区RC創立50周年記念式典・祝賀会、開催の御案内が来ております。日時は平成30年10月27日(土)13:00から東武ホテルレバント東京4階「錦」で行われます。後日参加を募りますのでよろしくお願いいたします。

ゲスト卓話:荻堂久子氏

《テーマ:豊年祭について》



皆さんこんにちは。



皆さんの所ではドラは鳴っていますか？今日、お話をさせていただきますのは豊年祭。私はホールザオン（大阿母御嶽）の司をさせていただいております。2002年から16年くらいになりますが、私が何故ホールザオンの神司になったかという話は遡ります。500年くらい前オヤケアカハチ、皆さんご存知かと思えます。ナータフーズそれもご存知だと思います。ナータフーズは八重山の長です。オヤケアカハチは一方から見ると英雄です。演劇界でも英雄化されています。ところが首里王朝から見ると反逆児です。それは何故かという村の住民にイリキヤアマリという火の神の信仰がありましてその信仰を一生懸命するが為に、働かない、税金を納めない。人それぞれ見方によっては英雄も反逆児になる、反逆児も英雄として称えられる。それが1500年、首里から兵が3000人程送られてきたと言われておりオヤケアカハチを討伐してしまいました。その時にイラビンガニという神職を受けた真乙姥（ナータフーズの妹）が神様のお知らせがあって「今日首里に向かって船出をすると船は無事に着きますよ。どうぞ、今日船出をして下さい」と言ったそうです。当時は大里城の城主、大里アジが来られていたそうで「もしもの事があったらお前には命はないと思え」と言って船出をしたそうです。真乙姥はそのあと美崎の浜に（今のサザンゲートブリッジから大濱信泉までを美崎の浜）そこにずーっと籠もって無事に着くようにとお祈りを続けていたそうです。私どもの聞いているところでは背中に浜カヅラが張っているほどお祈りをしていたと。そこへ豆腐を作る為に塩を汲みに来たのが私の先祖ターダヤオナリという少女がその姿を見て介抱して、その祈りを続けてもらった。ずっと介抱をしてそれから2年、1502年首里王府からお知らせがきて、褒美をあげるから真乙姥はターダヤオナリを連れて上国したと文献には書かれています。その時に宮古も八重山も初めてホールザオン（大阿母）という神職を、例えば各御嶽の司を纏める、八重山における最高真如の位を真乙姥にくださった。ところが真乙姥は「私はこの子のお陰で命をつないで祈願が

出来た。役職はこの子にやって下さい」この子と言われる程、若かった。それではという事でホールザオンの神職をターダヤオナリに賜った。平得のその女の子が貰ったカンザシ、衣装をまとって座っている姿は神々しく見えた。

ホールザ（大阿母）というのはどのぐらいの位かというと首里王の奥様や兄弟、娘の下に3名のオオカゴシラレ、八重山から1人宮古も1人傘下にあった。祭政一致の時代ですから長と同じぐらいの権力が与えられていた。毎年、今の八重山の事を報告に首里城へ行っていた。ホールザオンを勤めたのは20年間。いつの年かは分からないけれど、公務を努めた帰りに台風に遭いました。流されて着いた所がベトナムだった。半年ほど皆さんにお世話になって帰って来ました。その時にお土産に何が欲しいかと言われたので、お米を持って行きたいという事で頂いてきました。それから八重山の稲作の始まりなんです。私どもの伝承にはベトナムから稲作の指導者もお供して来た。この島に残ったのかベトナムに帰ったのかは知らなかったが近年私が気づいたのは、大川にベトナムから稲作の指導に来られた方の屋敷跡とお墓だと言われている所があるので、ベトナムには帰らずにここで終生いらしたのではないかと思います。真栄里にある多田御、メイクマンからそのまま浜に下りた右手の方にお米を最初に置いた所に神様が宿ったという事で稲作の神様をずっとお祈りしています。種子取りはそこから始まる。真乙姥は名前の御嶽、オヤケアカハチも碑があります。多田御嶽は海にあります。平得にあるのは豊年祭のものはホールザオンとあります。役職が御の名前になっている。平得村御がそれを建てた。八重山から初めてホールザオンという神職を頂いた人が平得村の出身であるという事を誇りに思っております。戦後、信仰の自由になりまして、神司も有力者の奥様や娘が希望してやっていました。みんなが働くようになって忙しくなってくると、神司は暇な人や血筋がやるとか、血筋の人でもやらなくなっていくと御嶽が寂れていく。豊年祭は五穀豊穰、お米を刈り入れて

人頭税を納めて、二期を作ったりお互いが喜び合う
そして来年に向かって英気を養うそれが豊年祭と聞
いております。私にとって神様とは大自然すべてが神
様なんです。一週間のカレンダー日曜日は太陽の神
様、月曜日は月です。火曜日は火です。水、木、金、
土です。私達の生活にいない物はないです。潮の
干満、月が満月になる、これが 10 ヶ月して私達は命
を貰って生まれてきた。親は子に島の宝になってほし
い国の鑑、そしてみんながあの人のようになりたあや
かりたいという風な人に育ててほしいというのが八重
山の子守唄なんです。そして豊穰の喜びをやったの
が豊年祭。豊穰を喜びまた来年の豊穰も祈念する
という事なんです。ホールザオンを拝命してちょうど
500 年、その時に御嶽も作って公民館が立ち上
がって結願祭を復活した 52 年ぶりだそうです。地鎮祭
までは叔母がしましたが落成祝いの頃には私がやり
始めたのがちょうど拝命して 500 年でした。

頂いたお米の種子の御礼にどうしてもベトナムに
行きたかった。6 名で行く予定が娘二人と私の 3 名
で行ってきました。その当時あんなにあった寺院がこ
こだけ。ベトナム語の先生が琉大にいる事が分かっ
てベトナムからお米の種子を貰って来たというのが稲
作の始まりというのが沖縄の民話の方に書かれてあ
るのでそれを訳してもらい、ベトナムの寺院の方に見
せて OK を貰って拝ませもらいました。豊年祭は西の
頭と東の頭が奉納されてきます。そして交わる。私ど
もはお宮の中でお線香をつけて待っていて頭がお互
いに奉納してから神様に報告します。これが豊年祭。
豊年祭は農家だけの祭りではないんです。恩恵を受
けるすべての人達が生かされている感謝を神様に捧
げるのが私は豊年祭だと思っています。皆様も親の
思いの通り、島の宝国の鑑、島の人々の鑑となる皆
さんがロータリーにいらっしゃるので感謝の気持ちを持
っていただきたいと思います。ありがとうございました。

～ 例会風景 ～



豊年祭の事 学びました！
菫堂先生ありがとうございました。



バナーの贈呈

